

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

金大中氏らを殺すな！

動労千葉青年部 街頭宣伝署名を開始！

街行く労働者・市民の反応  
は大きく、ベニア二枚張りの  
写真看板の前には多くの市民  
が足をとめ、くい入るように  
注目し、約一時間半の行動に  
よせられた署名は一六二名、  
カンパ約一一、三〇〇円。そして  
金大中氏ら救出と九・一五三里  
塚総結集を訴えたビラ約二〇  
〇〇枚が手渡され、先の県労  
連行動としての第一波行動（  
約二波）に続き、この日の  
オニ波独自行動は大きな成  
功を勝ちとった。



めでかいへの決意  
を固め、この日の  
街頭宣伝行動に参  
加したのである。  
——あの声が  
やすからぬ。  
光州に続こう！

この日の、映画  
街頭宣伝に参加し  
た青年部員の幾人  
かに感想や反応を

聞いてみた。  
へ街頭署名を訴えて——

A君「三里塚やジェットの署名では何度もやつたけど、今度の金大中氏の署名では、それ以上の熱気を感じた。自分の方から寄つてきて署名とカンパをやつてくれた人もずい分いた。」

B君「中年以上のおじさん、おばさんといった人たちの署名が多いつもより多かった。戦争や軍隊の残虐さを自分の経験で話してくれた人もいた。」

血の抗争の記録（16時30分）上映・討論  
会を約五十名の参加で勝ちとり、あらた

が堂々と進出してきて、まるで日本の都

八月二十八日、動労千葉青年部は「金大中氏らを殺すな！」を掲げ、千葉駅前街頭宣伝・署名行動を開始した。学園協を中心とした青年部約三十名は、自由と統一を求め生命をかけて不屈の闘いを続ける南朝鮮人民、とりわけあの偉大な光州蜂起への感動と、そしてそれに襲いかかる血ぬられた全斗煥軍部独裁と反動鈴木内閣への激しい怒りをこめて、動輪旗を押し立て、全員ゼッケンを着用して、自分たちで作ったビラを手渡しながら日々に熱気をこめて訴えた。

熱い共感よび起す

日刊  
動労千葉

80.8.30

No. 521

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動労車会館）  
(鉄電)二二五八九・(公衆)〇三三二七二〇七

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

市とまちがう位看板が立つ。こい

た。日本の侵略がそこまでいつているのを知つてショックを受けた。

D君「韓國の若い人たちが生命が

けでがんばっている姿に涙が出了。日本でボサツとしてられな

いな、と反省した。」

E君「映画の最後に『光州は死なず。光州につづこう』という呼びかけがあつたが、あの声がめすれられない。」

映画(※:鉄道学園)

## 闘う南朝鮮人民に連帯し、今秋三里塚・反合闘争の爆発で、反動鈴木内閣の軍事大国化攻撃をうちくだこう!

八月七日～八日の第一波緊急街頭署名と日比谷中央集会以降、ゆれゆれば全駅場での救出署名を進める一方、青年部を中心に映画討論集会や学習会を開催しつつ駅場での情宣をつみ上げてきた。

8月25には幕張支部で映画集会を開催し、これには年輩者も多く参加した。

8月27には、昼間、『青年部拡大常任委員会』へ全支部青年部活動家50名が参加)で、夜は、千葉軒・蘇我・木更津各支部青年部が中心となつて進めている『千葉・市原地区共同』主催で映画・討論を軸に今秋の闘いの課題をうち立てるなど、一歩一歩と闘いをつみ上げ、この日8月28の青年部独自の街頭宣伝・署名行動を勝ちとつてきたのである。

ゆれゆれば、青年部を先頭に、あの在日朝鮮人・中国人の大虐殺・関東大震災を弾劾して九月一日第一波街頭行動を展開する一方、この課題を三里塚・反合としつかりと結合して九月五日佐倉支部青年部行動を皮切りに九月全支部での総決起を勝ちとつてこいこうとしている。

ついにあの「愛国の党」「日共との反動的野合にとりすがるまでに破産し落ちぶれてしまつた労働本部」反動分子の敵対を粉碎し、「金大中氏救出・5.10反対・軍事大国化阻止・二期攻撃粉碎」を掲げ、九・一五三里塚への総決起を実現しこじこう!

9.15

三里塚空港粉碎  
現地総決起集会

午後一時

岩山小学校跡地



ジープやトラックに分乗し、棒や自動小銃で武装して行進する光州市の労働者学生 (5月 21日)